

# フレイル予防 飯塚で講演会



「健幸都市宣言」を行う8市町の首長ら

加齢で心身が衰えるフレイルの予防をテーマにした講演会が1日、飯塚市のイイツカコスモスコモンで開かれた。予防事業に取り組む産学官組織「スマートウエルネスコミュニティ協議会」（理事長＝大内尉義・虎の門病院顧問）などが主催し、予防の取り組みに力を入れる全国8市町の首長らが参加した。

2月1日の「フレイルの日」に合わせて企画。同市の片峯誠市長、阪口伸六・大阪府高石市長、森章浩・奈良県田原本町長が出席し、高橋由一・岩手県金ヶ崎町長、石山志保・福井県大野市長、山内守・京都府

## 全国8市町の首長ら参加

南丹市副市長、片山象三・兵庫県西脇市長、宮脇正道・鳥取県湯梨浜町長がオンラインで参加した。

講演会では、筑波大教授で同協議会の久野譜也副理事長が、新型コロナウイルスの外出自粛に伴う運動不足でフレイルになるリスクが高まっていると指摘。「コロナ禍でも適度な運動をして社会と関わってほしい」と呼びかけた。

その後、8市町の首長らが「今後も健康長寿で生きがいのあるまちづくりを進める」などと決意を述べ、最後に全員で「フレイル予防！コロナに負けない健幸都市宣言」を行った。